

ひとりのために みんなのために

# あきの福岡県ニュース

2022  
vol.1

発行：あきの公造後援会 北九州市戸畑区初音町6-7 中西ビル201



—中小企業健康保険「協会けんぽ」—

## 企業・加入者の負担軽減! 財政安定を「あきの」が推進!



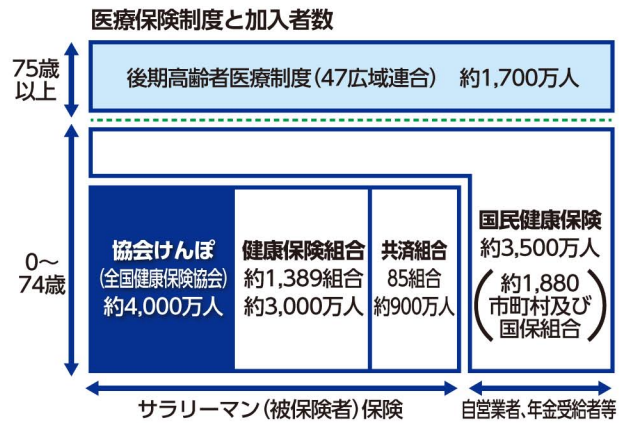
福岡県商工政治連盟 花田 稔之 会長

福岡県商工政治連盟は、あきの公造氏の政治活動に共感し、推薦を決定しました。

保険料引き上げは中小企業にとって死活問題。公明党の秋野公造参議院議員がこの問題を、当時国会で取り上げ突破口を開いてくれました。今後も中小企業支援策に尽力していただきたいと思います。

### ■協会けんぽとは…

日本では、国民全員が公的な健康保険に加入する「国民皆保険制度」となっていますが、年齢と職業や地域などにより加入先(保険者)が異なります。『協会けんぽ』は、主に中小企業にお勤めの方とご家族が加入する日本最大の健康保険組合です。(4,000万人が加入)



### 保険料引き上げの危機に「あきの公造」が国会で質疑し打開策を実現!

「リーマンショック(2008年頃)」や、度重なるデフレ・円高による大打撃の影響、さらに2012年2月に民主党政権(当時)が閣議決定した「社会保障と税の一体改革」には、協会けんぽの財政安定化に関する項目がなく、「協会けんぽ」の保険料率は最大12%まで上昇が見込まれていました。

そこで、「あきの公造」が同年3月に参院予算委員会で「協会けんぽが崩れると国民皆保険も崩れる。大綱の中で検討を」と指摘し、時の首相から「よくわかった」との前向きな答弁を引き出しました。その結果、2015年5月、**国からの支援となる「国庫補助金」の補助率16.4%維持が決定。**

**国からの安定的な財政支援が確保できたことで、企業・加入者の保険料率も当面10%程度で維持され引き上げられることはなくなりました。**

国庫補助率が安定した結果…2009年以降、「協会けんぽ」の財政は黒字に回復!  
現在も、国補助率16.4%は維持され、日本経済を牽引する中小企業を支える力に!

保険料率がアップしていたら…

例え

ば 保険料率が12%にアップすると月給20万円の社員を10人雇用する中小企業は年24万円、社員自身も年2万4000円の負担増になっていました。